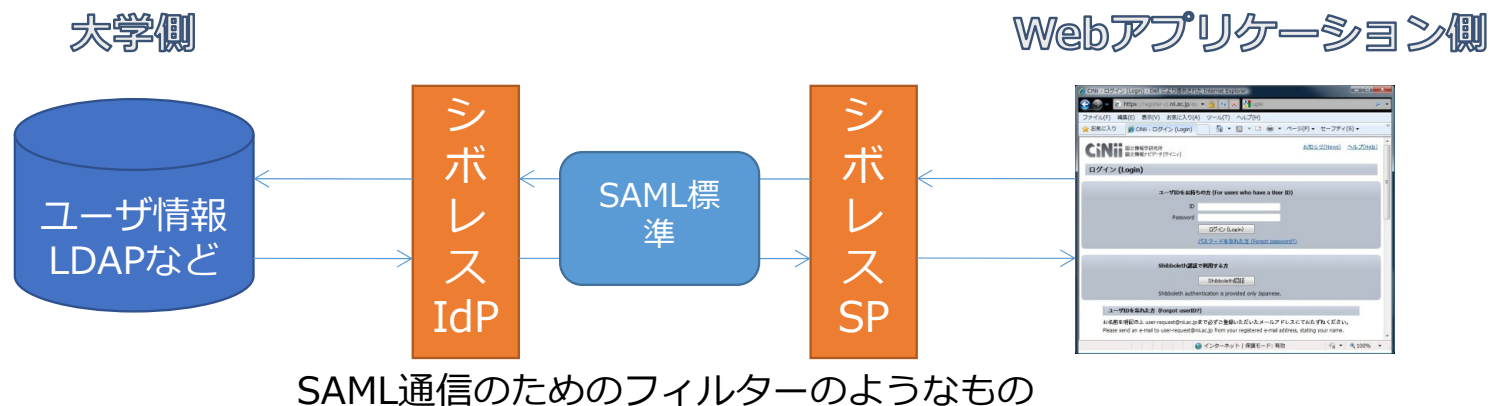


# 学認について

2023.10 NIIサービス説明会2023  
国立情報学研究所 学術認証推進室

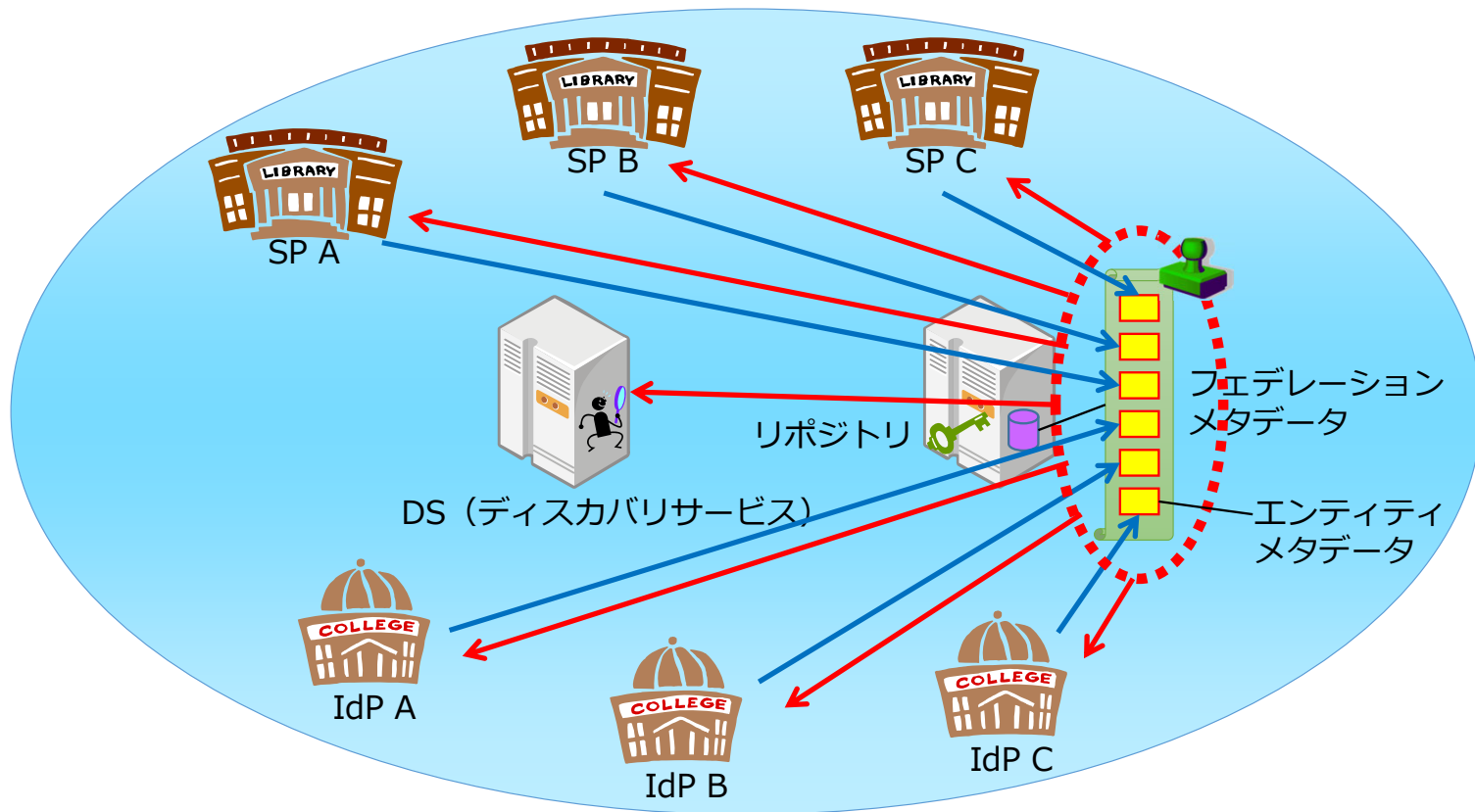
# 学認の目的


- WebアプリケーションへのSingle Sign-On(SSO)技術を、**組織を越えて**活用するための分散型認証基盤を形成する
  - Single Sign-On：一度の認証で複数のサービスを再認証なく利用できる技術
    - 実現方法はいくつかあるが、フェデレーション内で技術の統一が必要



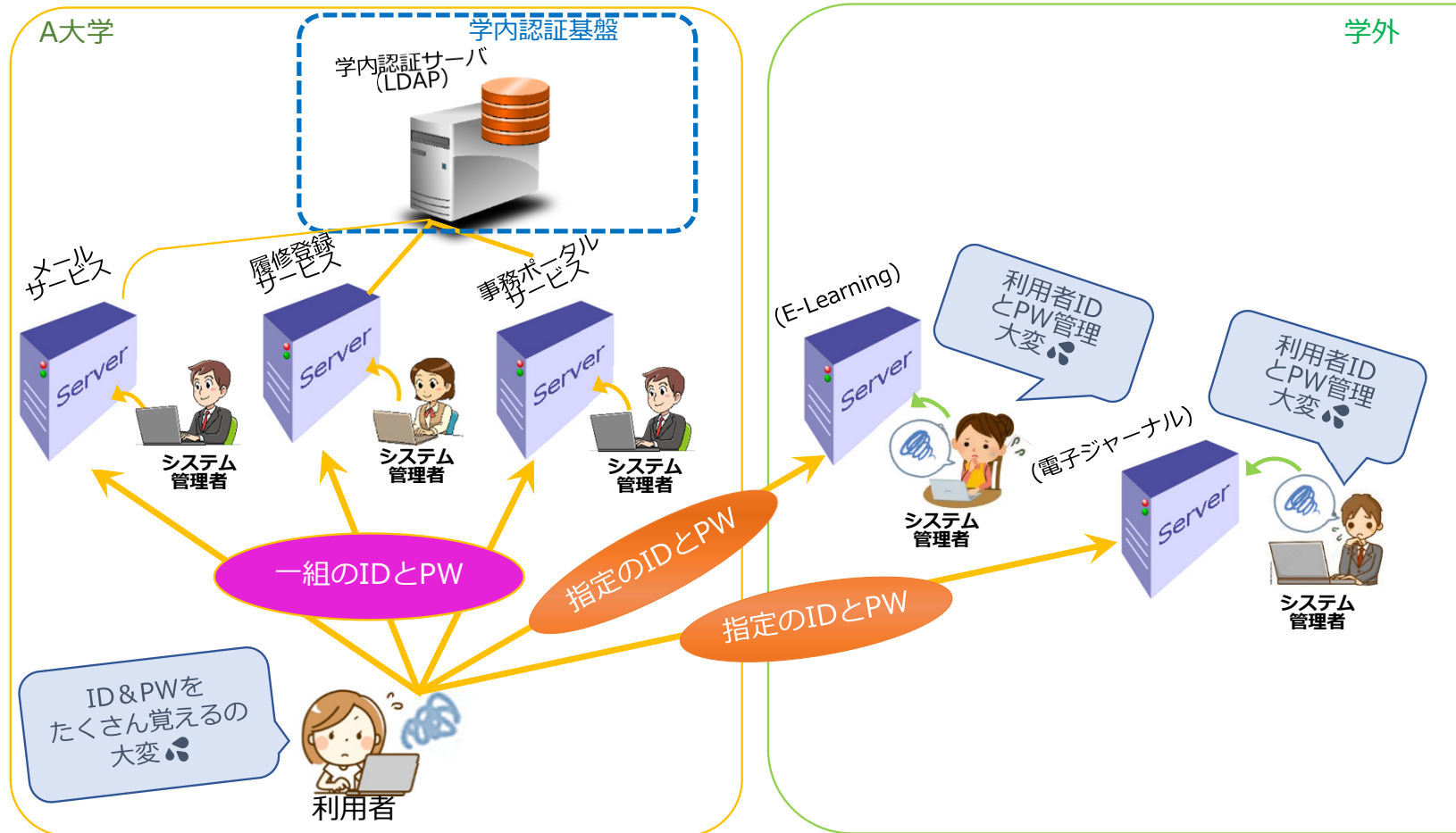
# メタデータを用いた信頼の構築

学認

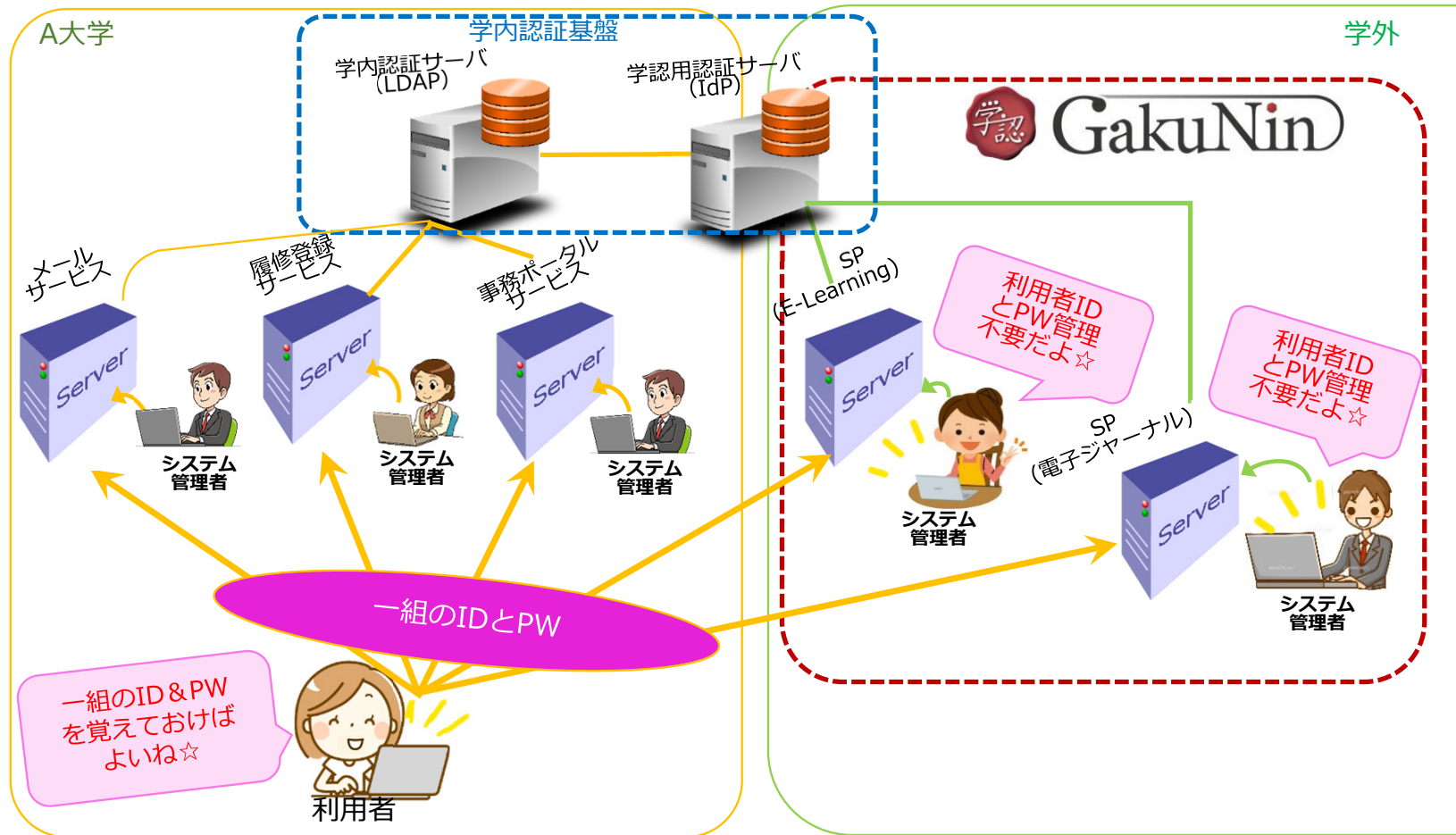


定期ダウンロードするフェデレーションメタデータの信頼性は、フェデレーションの証明書  で担保 (事前に入手・検証し、事前にIdP/SPにインストール)  
 (証明書の検証は、別チャンネルで入手したfingerprintとの比較等による)

# 学認に参加するメリット ～学認がないとき～



# 学認に参加するメリット ～学認があるとき～



# 「はじめての学認」について

- 詳細は2019年NIIオープンフォーラム「はじめての学認」をご覧ください
  - [https://www.nii.ac.jp/openforum/2019/day1\\_4.html](https://www.nii.ac.jp/openforum/2019/day1_4.html)
  - <https://youtu.be/pMCw7oJablo>

## 参考：「はじめての学認」の章立ておよび内容

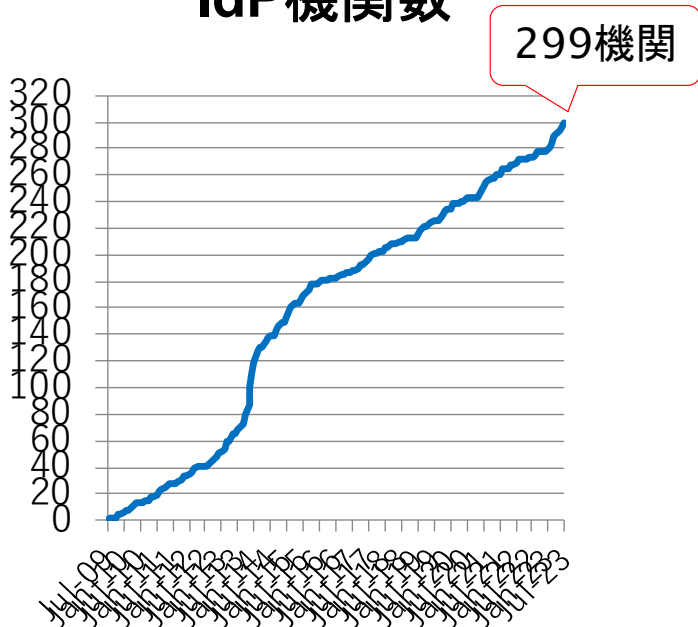
1. 学認について
  - シングルサインオン・フェデレーションとは
  - フェデレーションの役割
  - フェデレーション参加機関の役割
  - 学認とは
  - 学認に参加するメリット
  - 学認への参加手順
2. 「学認」に必要な技術
  - フェデレーションに必要なサーバ
  - メタデータとは
  - Shibbolethについて
  - IdPの調達と構築
  - 属性について
  - SPの学認連携／学内連携
3. 「学認」参加後の運用について
  - 証明書の更新、責任者・担当者引継ぎなど

# 学認に参加するとなにができるの／運用の流れなど

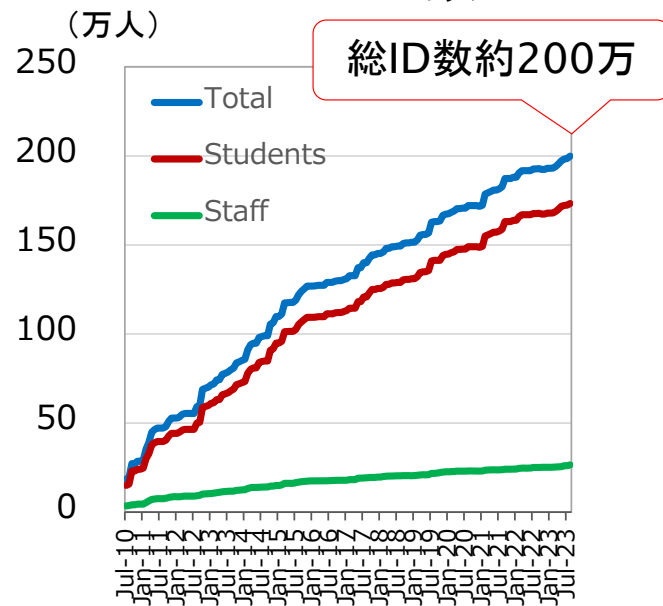
- その1 : GakuNin道しるべ (パンフレット)
  - <https://www.gakunin.jp/document/98>
  - 学認参加後 (もしくはIdP/SP構築後) の指針となるべく用意したドキュメントです
  - 内容は多岐にわたります
- その2 : 学認参加後のIdP運用道しるべ (スライド)
  - <https://www.gakunin.jp/document/682>
  - 「GakuNin道しるべ」からIdP関係のものを厳選しご紹介しています
    - 章立てから抜粋：
      - 学認に参加すると何が出来るの？
      - 各SPに対して属性送付設定を行わなければならない
      - SPの利用契約について
      - 利用者の流れ
      - など

# IdP/SPの推移 (2023年8月末現在)

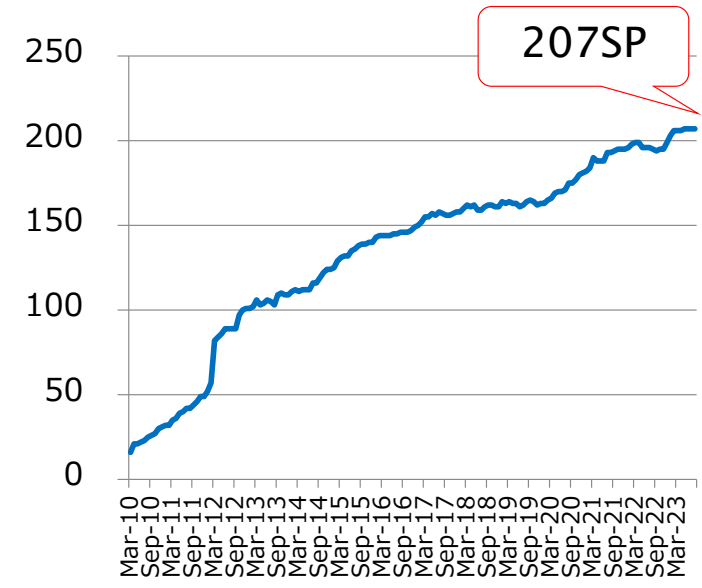
## IdP機関数



## IdPユーザ数



## SP数



	国立大学	公立大学	私立大学	短期大学	高等専門学校	共同利用機関	その他	合計
学認参加数	81	32	114	1	51	5	15	299
カバー率	94%	35%	19%	0%	89%			
総機関数	86	91	604	333	57			



# Shibboleth IdPバージョン5リリース

---

- 今年9月にリリースされました
- 詳細は下記ページを参照してください。
  - IdPv5アップデートに関する情報  
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/QhNeBw>
  - 学認技術ガイドも順次更新していきます
- トピック（情報交換MLで既報）
  - Javaのバージョンは17が必須
  - JavaサーブレットコンテナはJetty 11以上(もしくはTomcat 10.1以上)が必須
  - JavaScriptプラグインについて
    - 要プラグインインストール
  - JDBCStorageServiceプラグインについて
    - 要プラグインインストール
  - eduPersonTargetedID属性について
    - Shibboleth開発元の方針変更により、V5でも同じ設定のまま当該属性を送信できます

## その他、学認参加IdP/SP向け情報

---

- Shibboleth IdP V4のEOL
  - 来年9月1日にアップデート提供が終了します
  - お使いの機関はV5へのアップグレードの計画をお願いいたします
- 学認参加IdP運用状況調査
  - 今年も行います 対象機関の方へ11月9日(木)前後に通知予定
  - 規程に定められている通りに運用されているか（準拠性）の監査が目的
  - 学認全体の信頼性にも係わる調査です
- IdP/SPで使用している証明書の定期的な更新を（3年めど）
  - 自己署名証明書を使用する場合の追加の確認手順を整備予定
- 運用責任者・運用担当者の交代・引継ぎ
  - 人事異動等による交代時には変更申請を忘れないでください

## その他トピック：OpenIdP運用終了

- 学認関連サービスの1つであるOpenIdPを運用終了します
- 後継サービスであるOrthrosへの移行をお願いしております
- 移行計画：

内容		2023/8	9	10	11	...	2024/3	4
SP準備期間	Orthrosとの接続設定	▶						
利用者移行期間	Orthrosのアカウント作成 OpenIdPとの連携			▶				
OpenIdP停止	2024/3末停止						▶	
Orthros	2024/4単体運用開始							▶

- OpenIdPご利用の方は、Orthrosにてアカウント作成およびOpenIdPとの連携を行ってください
- 詳細はこちら  
⇒ <https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/x/rQShBw>

# 学認に関するお問合せは・・・

---

国立情報学研究所 学術基盤推進部  
学術基盤課 認証基盤・クラウド推進チーム（認証担当）

Web: <https://www.gakunin.jp/contact>

もしくは

mail: [gakunin-office@nii.ac.jp](mailto:gakunin-office@nii.ac.jp)

まで、お気軽にどうぞ。

